

特別展 アジアンフィッシュ

～アジアに生息する淡水魚～

現在、海浜水族館ではアジア特有の淡水魚が大集合しています！コイ類やメダカ類などの分類群ごとに特徴や面白い生態を紹介しており、普段なかなか見ることができない珍しい魚たちの魅力を楽しむことができます。この機会に、アジアの水中世界を体感してみませんか？



時 10/25(日)まで 所 問 海浜水族館 ☎48-3761

ホームページ Instagram



展示内容をちょっと紹介！

カラフルなコイの仲間たち

アジアを代表する淡水魚のグループといえば、コイの仲間です。特に小型種には、カラフルで美しい種が多くいます。実はドジョウもコイの仲間、ニョロっとした種以外にも、平たく面白い体形の種もいます。



ナマズも色々

コイの仲間に近いで大きなグループであるのが、ナマズの仲間です。特別展では体がスケスケのトランスルーセントグラスキャットとスーパーなどで切り身で販売されるパンガシウス的一种も展示しています。



魚なのに溺れちゃう？！

口先を水から出して、息継ぎをする魚たちがいます。本来は酸欠気味な水辺で生き抜くために、空気呼吸ができるように進化したのですが、息継ぎができないと溺れてしまいます。息継ぎをする姿にも注目してください。



アジアはメダカパラダイス

アジアにのみ生息するグループにメダカの仲間がいます。展示中のメダカは、名古屋市にある東山動植物園の世界のメダカ館より出張展示で、珍しいメダカもいるので、日本のメダカと比べてみてくださいね。



このほかにもたくさんのアジアンフィッシュを展示しています。
実際の魚たちを見に来てください！



この企画を担当している飼育員の宮島さんに「アジアフィッシュ」について話を伺いました。



飼育員の宮島さん

個性豊かなアジアの淡水魚をご覧ください！

アジアといっても、東の日本から西のトルコまでの広い地域です。気候や環境は様々で、多種多様な淡水魚が暮らしています。特に東南アジアは淡水魚の宝庫で、世界の淡水魚の25%が生息していると言われています。また、身近なところではスーパーで見かける「パンガシウス」はアジアに住むナマズの仲間ですし、ペットショップでは色鮮やかなアジアの魚が販売されています。

そんなアジアには個性豊かな淡水魚が数多く生息しており、息継ぎをする魚や体を透明にした魚、まるで海水魚のような魚などがいます。この特別展では、アジアの淡水魚のごく一部しか紹介できていませんが、アジアフィッシュの多様さや面白さを感じていただければと思います。ぜひ、アジアに触れる機会にしてみてください。

10/3(土)実施！特別展をより楽しむ関連イベント！

簡単に楽しめる釣りゲームの「アジアの魚をつりあげろ！」やビーチバレーボールが碧南市で盛んなことにちなんで「テッポウウオのボールにアタック！」を開催します。

アジアの魚をつりあげろ！

1回300円で体験できる魚のパネルの釣りゲームで、オリジナルグッズをプレゼントします。



テッポウウオのボールにアタック！

大水槽の給餌解説後の 15:00 より、ビーチバレーボールコートを模した水槽にてテッポウウオへの給餌解説を実施します。

※テッポウウオの状態により中止する場合があります。



テッポウウオの水鉄砲は意外に難しい？

テッポウウオは、漢字では「鉄砲魚」、英語では「Archerfish (射手魚)」、属名の「*Toxotes*」もギリシャ語で射手を意味するなど、その特性が非常に注目されている魚です。実際に自然界では、葉の上にいる虫を狙って口から勢いよく水を吐き出し、獲物を水面に落として捕らえます。テッポウウオがあまりにも上手に、狙い通りに水を吐き出すので簡単そうに見えますが、実際は水の屈折により、水中から見えている位置と本来の位置にはズレが生まれるので、テッポウウオは経験的にその差を計算して水鉄砲を撃っていると考えられています。さらに、水の屈折は真下に移動した方が誤差を小さくできるので、テッポウウオは獲物に気が付かれないように真下へ近づくことで命中率を上げていると言われています。また、獲物が比較的低い位置にいるときは、水中から飛び出て直接獲物を捕らえることもあるなど、水鉄砲以外の技も光ります。特別展では、テッポウウオの仲間のセブンスポット・アーチャーフィッシュを展示中です。エサの時間には、もしかしたら水鉄砲が見えるかもしれませんのでぜひ注目してくださいね。

